

宇宙分野で何をやっているの？



防衛省・自衛隊では、

「つなぐ」「とらえる」「まもる」

という3つの方向性で様々な取組みを進めています。

今回は、宇宙利用を「まもる」について、紹介します。

宇宙利用を「まもる」

課題

衛星軌道の混雑化 対衛星兵器や妨害手段

の開発・利用が進展

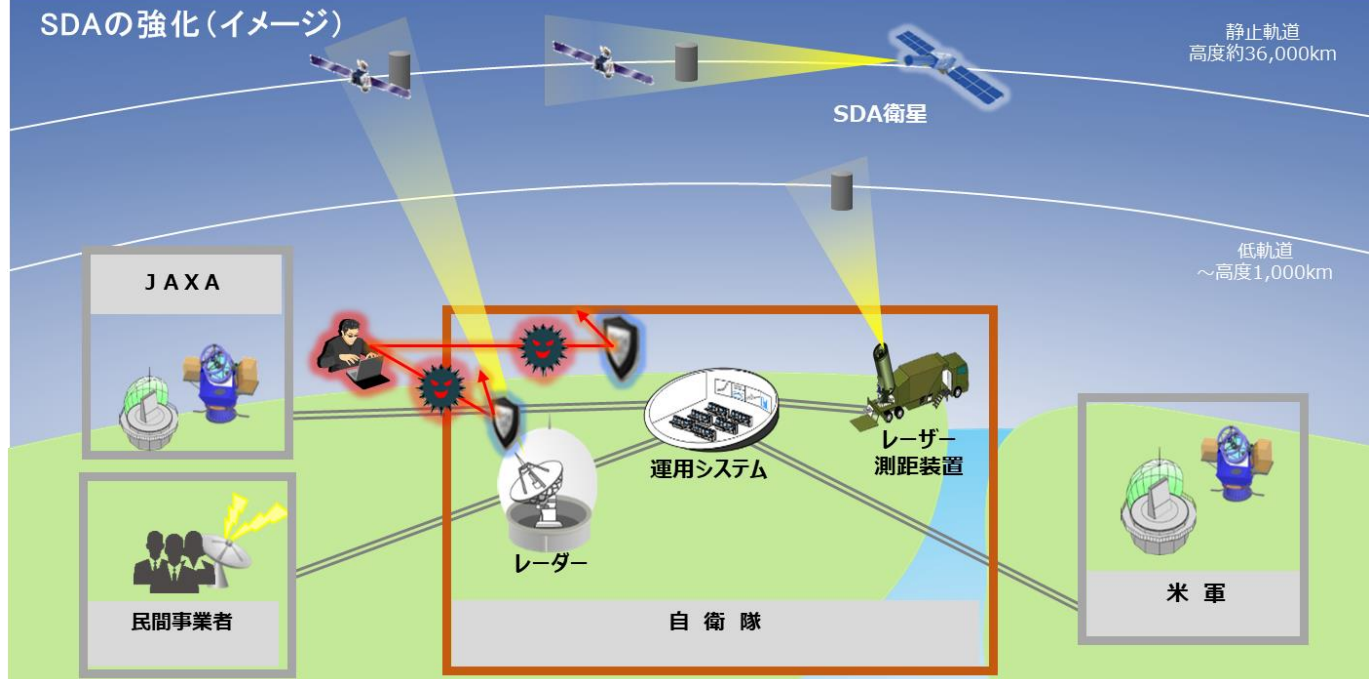
方向性

SDAを基盤として、
サイバー攻撃を含む妨害から
自衛隊の宇宙利用を「まもる」

<SDAの強化>

- 2026年度までの打上げに向けてSDA衛星の製造・取得等を行う。
地上のレーダーやシステムの整備も行い、米軍や民間事業者との情報共有を行う。

SDAの強化(イメージ)



- ・ 宇宙状況把握 (SSA) : 宇宙物体の位置や軌道等を把握すること (宇宙環境の把握を含む)
- ・ 宇宙領域把握 (SDA) : SSAに加え、宇宙機の運用・利用状況及びその意図や能力を把握すること